

令和6年度（第3回）京都市京北地域公共交通会議

- 1 日 時 令和7年3月24日（月）14：10～15：00
- 2 場 所 京北出張所1階1－1会議室
- 3 出席者 別添「出席者名簿」参照

<開会挨拶>

（井上会長）

先日、市バスのダイヤ改正があり、民間バスもダイヤ改正をしているが、軒並み本数減少となっている。お客がいないので減らさざるを得ない。バスは減っていくので、バス以外で何とかして移動手段を考えていこうという動きも進められている。どうにかして利用者を増やしていかないと、なかなか持続可能な公共交通は難しいということを共有できればと思う。本日は、それを乗り越えるべく色々な取組を報告いただくので、更に皆様に知恵を出し合って、よりお乗りいただけるようなことを考えられればと思うので、よろしくお願いします。

<議 題>

※ 事務局から資料3「令和6年度の取組状況及び来年度の取組（案）」に沿って説明

【質疑応答】

（井上会長）

一日券の利用者について、販売状況等から特徴的なことがあれば、説明いただきたい。

（西日本ジェイアールバス 島川委員随席）

周山フリー乗車券は、観光客の利用が一番多い。特に、情報発信として、京北に来られる方には、チラシ等で「周山フリー乗車券」を利用いただくことを促しながら、バスの利用促進を図っている。

また、今年の「京北さくらきっぷ」についても、京北ふるさとバスとタイアップし、昨年短期間で111枚販売できたことは、京都市観光協会の「とっておき京都」も含めて情報発信した関係もあるかと思っている。

京都市には、「いけいけ京北 親子GO!」で、最大限に情報発信等も含めてやっていただいた。これをきっかけに弊社バスの利用が増えると喜ばしい。この後のさくらきっぷについても情報発信しながら、利用促進に努めていきたい。

また、地元におかれては、できるだけ情報発信のできるような地域づくりをしていただければと思っている。情報発信はSNSやインターネット等があるが、事前にある程度情報が得られなければ、京北に人は流れない。その辺りは地元も含め、是非とも協力していただきたいと思います。

（国土交通省近畿運輸局京都運輸支局 中野委員）

今のフリー乗車券と関連して、以前ホームページでフリー乗車券のことを知っていたため、今日は前もって買ったが、バス停のところにフリー乗車券の案内があると、並んでいる方などが買われることもあると思われる。情報発信として、そうした方法も考えていただければと思う。

利用促進の取組について、京北ふるさとまつりでバスのPR等をされてるということだが、例えば、地元の小中学校の生徒にふるさとバスに乗ってどこか遠足に行くといったような取組はされてるのか。

(きょうと京北ふるさと公社 山下委員随員)

ふるさとバスで遠足に行くということは、地元の小中学校ではやっていない。登下校で毎日乗ってくれる子供さんがおり、乗っておられない徒歩の子供もいるが、まちかど探検といった、小学2、3年生ぐらいの子供がこの地域の事業所を回るという取組の中で、ここ数年は毎年、ふるさとバスの事業所に来てくれている。バスにも馴染みが出てきたのかなという感覚はある。

(きょうと京北ふるさと公社 久保委員)

先日、「いけいけ京北 親子でGO!」という企画について、京北文化遺産センターの管理者から、「親子で来られてすごい感激しておられた」というお話を伺った。やはり来ていただければ、京北はいいところがたくさんあるわけで、どのように発信すれば来てもらえるかということを考えなければいけない。「いっぱい見所があったとしても、知られてなかったらいいのと一緒に」という話があるが、やはり今回のように企画し、広くアピールしたら、京北地域にもっと注目が集まるのではないのかと思っている。山国さきがけフェスタや「山国隊」という有名な京都府の無形民俗文化財もある。色々なところが連携して、京北を知っていただくということが大事であり、そのために当ふるさとバスもお役に立てればと思っている。運転手の確保に大変苦労しているが、一生懸命やっていきたいと思っている。

(井上会長)

「いけいけ京北 親子でGO!」の参加者等の状況について、教えていただければと思う。

(事務局)

「いけいけ京北 親子でGO!」については、3月15、16、20、22、23日の5日間で、大人が約40名、お子さんも未就学児の方も含め約50名、合計30組87名の参加があった。

企画内容は、西日本ジェイアールバス高雄京北線及び京北ふるさとバスが1日乗り放題となる本事業専用の企画乗車券を2,000円で販売させていただき、その券を購入した方を対象に、無料で参加いただける体験プラン、具体的には、茶道体験、森の体験アドベンチャー、京北文化遺産センター見学、バギー体験、納豆餅の納豆餅づくり体験など、午前と午後2つの体験をしていただいた。

参加者からの感想については、全30組のいずれも「とても満足した」又は「満足した」との回答で、京北地域が持つすばらしいポテンシャルを感じさせる結果であった。具体的な感想として、「とても楽しめた」「季節を変えてまた来たい」「京北が好きになった」「絶対また来る」というお答えをいただいている。

また、「イベントに今回関わる人の全てが温かくて癒された」という回答もあり、京北地域の皆様の熱い思いと、懇切丁寧な体験への取組、御尽力によるものと考えており、改めて感謝を申し上げる。

当日は周山駅のバスターミナルに受付を設け、そちらで道案内等を本市職員で行わせていただいた。体験プランは、京北観光連絡会に造成いただき、それぞれの施設で実施いただいた。また、各体験施設には、西日本ジェイアールバス、京北ふるさとバスに乗って、行っていただいた。「いけいけ京北 親子でGO!」は大成功で終わったと感じている。

(井上会長)

チケットはいい感じに売れている。例えば、「京北一日フリー乗車券」が今年度は8月以降全然売れてないが、おそらく「美山・京北バスたびきっぷ」に移行しているのかと思う。各チケットの1種類1種類の売れ行きよりは、全体的な売れ行きを見て、判断するとよいだろう。

また、このさくらきっぷはかなり絶好調で、目的地の魅力が高いところには来ていただけている。是非、桜のシーズンは、X（旧 Twitter）の担当者の方に、「常照皇寺の桜の開花がいつ頃」で、「何時のバスに乗れば周山で乗換いただける」、「チケットはどこのセンターで買える」といった情報を定期的に発信していただきたい。

また、「いけいけ京北 親子でGO!」の取組についても満足度が高い。今の観光は体験型観光が人気で、国内外に関わらず、こういった体験型の企画が出てきたというのは、大変いいことである。

最近、観光 MICE 推進室からの発表で、京都のまち中からかなり周りに観光客が分散していて、京北が5割ぐらい秋は来訪者が増えていた、とのことであるが、肌感覚としてはどうか。

(京北出張所 小泉委員)

正直肌感覚としては増えたという印象はない。スマホの位置情報でおおよその数を算出されているが、美山に行かれる際に、ウッディ京北に停まれた数が増えたと思われる。逆に今回の企画や昨年の京北観光連絡会の取組から、京北の観光資源についてはどんどんアピールしなければいけないと地元も認識している。

(京北自治振興会 渡邊委員代理)

京北出張所がおっしゃられたとおり、肌感覚としては増えたという印象はないように思うが、道の駅周辺では随分外国人の方が見受けられるので、これからまた増えていくのではないかと考えている。

(きょうと京北ふるさと公社 久保委員)

感覚としては同様である。その他、最近テレビ取材が結構入ってきていると聞いている。うまく使えばいいが、何か取材のついでに来られ、終わるとすぐに帰られる。取材の申込みはあるが、こちらからは発信することがない。次来られる際は、「このことを報道してくれ」というように、何か条件を付けながら対応していきたいと思っている。関心は高まっている。

(井上会長)

参考までに、海外の方の動向について事業者には聞いていないと、SNSで着目され、急に行動が変わるパターンが多いようである。「何かちょっと変化したね」ということがあればみんなで共有して、「何だろう」と突き詰めると、意外なところにヒントが隠されてることがあるので、どこかで活用いただければと思う。

⇒ 議題「令和6年度取組状況及び来年度の取組（案）」について承認

<その他情報共有等>

(西日本ジェイアールバス 椎木委員代理)

当社の高雄京北線に置かれた現状を簡単に説明させていただければと思う。今、コロナ禍の影響も戻ってきたが、梶ノ尾から周山間の利用状況については、2011年度と2024年度で調査したところ、利用者数は半減している。そういった中で本数は維持をしている状況である。ま

た、運転士不足ということもあり、現在、高速線を中心に整理をし、何とか会社の立て直しを進めているところである。

これまでは、何とか生活路線ということで、維持に向けて努力をしてきたが、今後については、それらの路線も見直し対象とせざるを得ないという厳しい状況に置かれている。この辺りについては、皆様におかれても、当事情について御理解をいただき、また利用促進等についても、引き続き御協力いただければと思う。

(井上会長)

現在別の自治体で、バスの利用者データを全部見える化して、地元の方と共有しようとされている。今の利用が少ないということは分かっているが、それがどの程度なのか、もし可能なら、この停留所の利用者が今どれぐらいなのかというのを見る化したらいいと思う。90年代の初めぐらいはそれなりに乗っていたが、末端区間の方の利用が減っていき、周山までになり、徐々に減って今の状況である。このままいくと本当にバスがなくなる可能性もあると思う。バスがなくなった後、その代わりを探していくのも非常に大変であり、次年度も引き続き、皆様方のアンケートを基に、あるべき姿を考えていくということなので、「減便がショック」、「青天の霹靂だった」、「知らなかった」といった、驚きみたいなコメントが、この地域からでないことを私は祈っている。

そんな中、今回大変意欲的で、この地域自体の将来にも大きく関わることは、この「いけいけ京北 親子でGO!」だと思う。受け入れられる地域の方々には本当に大変だと思うが、京北の地域の新たな財産になると思う。この体験型のイベントで地域の特徴を生かして、子供たちに体験いただきたい。バスの利用促進だけではなく、この地域自体の魅力発信につながることで、受入れは大変だと思うが、可能な限り、地域の方々がこれらの体験を通じて、様々な考えていただき、毎年実施できるようなものになればと思う。

イベントでの利用促進はその時だけで、なかなかその後の利用につながらないが、今回の体験型企画は、京北の魅力を一度知って、もしかしたらもう1回来ていただけるかもしれない。二度三度と来ていただければいいようなチャンスだということを、是非今回協力いただいた皆様にもお伝えいただき、この京北の魅力を発信いただきたい。

<閉会挨拶>

(歩くまち京都推進室 矢内委員代理)

様々な御議論いただいた事務局からの報告内容は、利用促進が主な内容であったが、新しい取組として行った「いけいけ京北 親子でGO!」は、京北観光連絡会の皆様が、西日本ジェイアールバスとふるさとバスを使って、各地域を回って体験ができるプランの原案を作られた。

色々な体験について、地域の方が自ら考えてやっていただいた結果、我々の予算を入れて、様々な体験を2,000円で1日遊べるという形ができたので、非常にヒットしたと思っている。西日本JRバス様、京北ふるさと公社様にも御協力いただき、非常に感謝をしている。

私も2日間ほど周山のバスターミナルにいたが、参加者の方の反応も非常によく、子供たちも非常に楽しそうにしておられ、また来たいという方が非常に多かった、体験の満足度も非常に高かった。

このイベントに来るだけではなく、是非リピーターになっていただき、しかもバスで来ていただくということが続いて、自立化・自走化ができたらと思っている。

情報発信については、今回、親子対象ということで、「わくわくのトビラ」という、小学生のいる全世帯に届く冊子に載ったということが非常に大きかった。アンケートを見ても、「わくわくのトビラ」と「市民しんぶん」で見たという方が大半であった。

企画券も桜の季節にかけて発売していくが、京北地域でもホームページのほか、黒田100年桜のポスターでの広報の中にも、是非企画券のことを載せていただきたい。

また、最後に西日本ジェイアールバス様から、非常に厳しい状況について報告があったが、市バスも含めて、今バス事業を取り巻く環境は非常に厳しく、運転士不足は深刻化している。これは、京北ふるさとバスも同じで、路線の効率化をして、子供さんには不便となる部分もあるが、そうせざるを得ない状況で、何とか運行している。

京都市としても、運転士確保のための予算を確保し、令和6年度補正予算で、新たな取組として運転士の処遇改善のための支援をしようとしており、民間バス事業者には、是非活用をいただきたい。

今回は域外の方を何とか京北内に来ていただこうという取組を行ったが、京北の方がバスを使うケースがかなり少ないと思うので、自治振興会様も、あらゆる機会をとらまえて、利用促進を是非意識していただければと思う。

また、来年度の取組についてだが、朝夕は小中学生の乗車があるが、昼間はほとんど乗車がないという状況がある一方、社会福祉協議会様や、地域の方が独自で無料送迎のような、ドアツードアでのサービスを始められている。令和7年度については、このふるさとバスの昼間時間帯の走り方について、もう少し具体的な検討が進むよう地域の皆様を巻き込んで検討していきたい。今回の議論も含めて、今後もこの会議でも議論していきたい。

引き続き、この京北地域の公共交通をいかに守っていくかということを皆さんと一緒に考えていきたい。

令和6年（第3回）京都市京北地域公共交通会議 出席者名簿

○

委員氏名	所属・役職	当日出席者
朝倉 恵介	西日本ジェイアールバス株式会社取締役安全運行本部長	(代理出席) 椎木計画部長 (委員随行) 島川支店長
石井 友輝	京都府右京警察署地域課京北交番所長	(欠席)
井上 学	龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻教授	同左
大庭 拓	京都府右京警察署交通課長	(欠席)
岡部 哲使	南丹市地域振興部地域振興課長	(代理出席) 上段係長
久保 和平	公益財団法人きょうと京北ふるさと公社理事長	同左 (委員随行) 山下部長
小泉 哲	京都市右京区副区長（京北出張所長）	同左
児玉 宜治	京都市交通局自動車部担当部長	(代理出席) 藤井担当係長
杉田 英雄	京都市建設局土木管理部京北・左京山間部土木みどり事務所長	(代理出席) 多田次長
田中 章仁	京北自治振興会会長	(代理出席) 渡邊副会長
長尾 由規夫	京都市都市計画局歩くまち京都推進室長	(代理出席) 矢内事業推進担当部長
中野 幸太	国土交通省近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	同左
安岡 道浩	西日本旅客鉄道労働組合西日本ＪＲバス地方本部京都分会執行委員長	同左

○：会長